

関西大学堺キャンパス すこやか教養講座（第 4 期）

現代社会において、すこやか（健やか）で豊かに生きていくためには、教養が不可欠です。そこで、関西大学人間健康学部は堺市と連携して、市民の皆さんに「すこやか」な日々を送って頂くために、第 4 期の教養講座を開催します。各分野のトップランナーの講師陣が、現代の教養を分かりやすくお話しします。

第 1 回 1 月 14 日（土）14：00～15：30

「大阪マラソン」の人気の謎

関西大学人間健康学部教授 杉本 厚夫

2011 年 10 月 30 日に大阪マラソンが開催され、3 万人のランナーに、17 万人が応募しました。どうして、こんなに多くの人が走りたがるのでしょうか？「大阪マラソン」の人気の謎に迫ります。



第 2 回 1 月 28 日（土）14：00～15：30

女学生の昔と今

京都大学大学院教育学研究科教授 稲垣 恭子

明治になって登場した「女学生」は、憧れと好奇のまなざしが交錯する存在でした。「なまいき女学生」から「軽薄女学生」まで、女学生のイメージと現実とはどのようなものだったのでしょうか。現代の女子学生とも比較しつつ、その教養と文化の系譜を辿ります。



第 3 回 2 月 18 日（土）14：00～15：30

シニア世代なら知っておきたい「からだ」のこと

関西大学人間健康学部教授 小田 伸午

次のように思っている人はぜひこの講演を聞いてください。・高齢者の歩行は衰えた歩行だと思っている人・ゴルフなどで腰が回るのは腰椎が回るからだと思っている人・腕は肩からついていると思っている人・足をまっすぐ向けて 1 直線で走るのが正しい走り方だと思っている人



第 4 回 2 月 25 日（土）14：00～15：30

子どもの貧困について考える

関西大学人間健康学部教授 岡田 忠克

子どもの貧困の問題は深刻です。貧困が子どもの教育や就職等の生活上のチャンスを奪い、その後の人生にも大きな影響を与えるといわれています。この生活の格差を生み出す背景について考えていきます。



第 5 回 3 月 10 日（土）14：00～15：30

危ぶまれる人類持続とその克服の道

京都大学名誉教授 内藤 正明

20 世紀の石油文明はいまピークを越えて終焉に向かっています。それは、これまでの物的な豊かさを急激に奪い去りますが、さらに地球気候や生態系といった生存基盤そのものも刻々と破局に向かっています。その実態と克服の可能性の有無を考えます。



第 6 回 3 月 24 日（土）14：00～15：30

アメノウズメ伝説 —日本最初の笑い

関西大学人間健康学部教授 森下 伸也

日本には一年を縁起よく笑ってスタートしようという「初笑い」の伝統があります。では初笑いのなかの初笑い、日本最初の笑いとは言えば、御存じ天の岩戸開きの大笑い。愉快的映像付きで『古事記』の神話を読み解き、日本人の笑いの原点を探ります。



場 所：関西大学堺キャンパス

南海電鉄高野線「浅香山」駅下車 徒歩 1 分
(自動車・バイクによる入構はできません。)

対 象：堺市民、関西大学学生、教職員、その他

参加費：無 料

※ 申込方法は裏面をご参照ください。

問合せ：関西大学堺キャンパスグループ

〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1

072-229-5022 (代表)

http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/



講師プロフィール

<p>第1回 杉本 厚夫 (すぎもと あつお)</p> <p>広島大学、京都教育大学を経て現職。専門はスポーツ社会学、臨床社会学、子ども文化論。実際に、子どもたちとキャンプをしたり、遊んだりして実践的な研究を行っている。『「かくれんぼ」ができない子どもたち』(ミネルヴァ書房)ほか。</p>	<p>第2回 稲垣 恭子 (いながき きょうこ)</p> <p>帝京大学、滋賀大学を経て現職。専門は教育社会学、歴史社会学。近代日本の隠れた教養文化の系譜から現代の教育を見直したいというのが目下の関心。『女学校と女学生』(中公新書、2007年)ほか。</p>
<p>第3回 小田 伸午 (おだ しんご)</p> <p>京都大学から現職。専門はスポーツ科学。研究者目線のスポーツ科学を、選手目線の動作感覚に置き換え、科学と実践をつなぐ学の実化(じつげ)を研究し、講義、講演を行っている。『スポーツ選手なら知っておきたい「からだ」のこと』(大修館書店)ほか。</p>	<p>第4回 岡田 忠克 (おかだ ただかつ)</p> <p>大阪産業大学を経て現職。専門は社会福祉政策で、主に福祉行政及び運営管理の国際比較研究を行っている。著者に『社会福祉の理論と政策』(中央法規出版)、『よくわかる社会福祉』(ミネルヴァ書房)ほか。</p>
<p>第5回 内藤 正明 (ないとう まさあき)</p> <p>京都大学、国立環境研究所を経て現職。専門は環境システム学。現在は「京のアジェンダフォーラム」などで、自然共生社会の実現に向けた研究と実践。著書に『持続可能な社会システム』、『科学技術と地球環境学』(岩波講座)ほか。</p>	<p>第6回 森下 伸也 (もりした しんや)</p> <p>長崎大学、ウィーン大学、金城学院大学などを経て現職。専門は社会学、ユーモア学。日本笑い学会会長、日本ホスピタル・クラウン協会理事。著書に、『ユーモアの社会学』、『もっと笑うためのユーモア学入門』、『逆説思考』ほか。</p>

(申込方法)

FAXまたはハガキにて、①郵便番号・住所②お名前・ふりがな③電話番号④希望される講座の開催日をご記入の上、締切日必着でお送りください。複数の講座を一括でお申し込みいただいても結構です。

講座開催の3日前までに聴講券を送付いたしますので、当日ご持参ください。

(定員) 150名。応募者多数の場合は、抽選にて決定。当選者・落選者ともに通知いたします。

(宛先) 関西大学堺キャンパス「すこやか教養講座」係

(FAX) 072-229-5082 (住所) 〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-11-1

FAX 送信用紙

関西大学堺キャンパス すこやか教養講座 (第4期)

住所 〒	—
ふりがな 氏名	電話番号 — —

参加	開催日	テーマ・講師	申込締切
	1月14日(土)	「大阪マラソン」の人気の謎(杉本 厚夫)	1月4日(水)
	1月28日(土)	女学生の昔と今(稲垣 恭子)	1月13日(金)
	2月18日(土)	シニア世代なら知っておきたい「からだ」のこと (小田 伸午)	2月3日(金)
	2月25日(土)	子どもの貧困について考える(岡田 忠克)	2月10日(金)
	3月10日(土)	危ぶまれる人類持続とその克服(内藤 正明)	2月24日(金)
	3月24日(土)	アメノウズメ伝説—日本最初の笑い(森下 伸也)	3月9日(金)

参加を希望される日の「参加」欄に○をご記入ください。